

② 自然教育園〈2013年〉鳥の撮影記録

渡 邊 昭 廣*

Akiro Watanabe*

はじめに

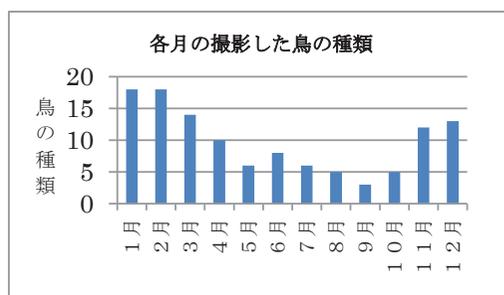
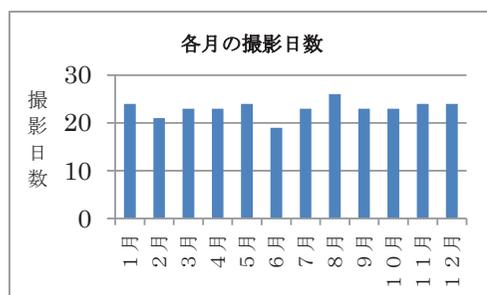
自然教育園では春から秋にかけて140種ほどの草や木の花が咲き、30種類ほどの蝶や8種ほどのトンボが見られます。夏にはセミが鳴き、そして多くの鳥たちのさえずりが聞かれ、見ることができます。

2013年1月～12月に自然教育園内で撮影した日々の写真を元に自然教育園で見られた鳥たちについてまとめてみました。

各月の撮影日数と各月の撮影した鳥の種類

2013年の撮影日数は年間で277日撮影しました。また、グラフに示したように各月の撮影日数はほぼ20日前後撮影しました。

各月の撮影した鳥の種類はグラフに示したように冬季に多く見られました。



観 察 方 法

午前は9時半～11時半、午後は13時半～15時半それぞれ園内を2～3周回り、出会った鳥たちを撮影しました。

水生植物園附近、森の小道沿い、武蔵野植物園附近、水鳥の沼附近で鳥はよく見られ撮影することが多かったです。

*東京都品川区, Shinagawa-ku, Tokyo

ただし、ハシブトガラス、スズメ、ドバトは街中でよく見られるので対象外としました。また、冬多く見られるヒヨドリもあまり撮影していないのでデータとしては不完全な所もあります。

自然教育園で見られた鳥の種類

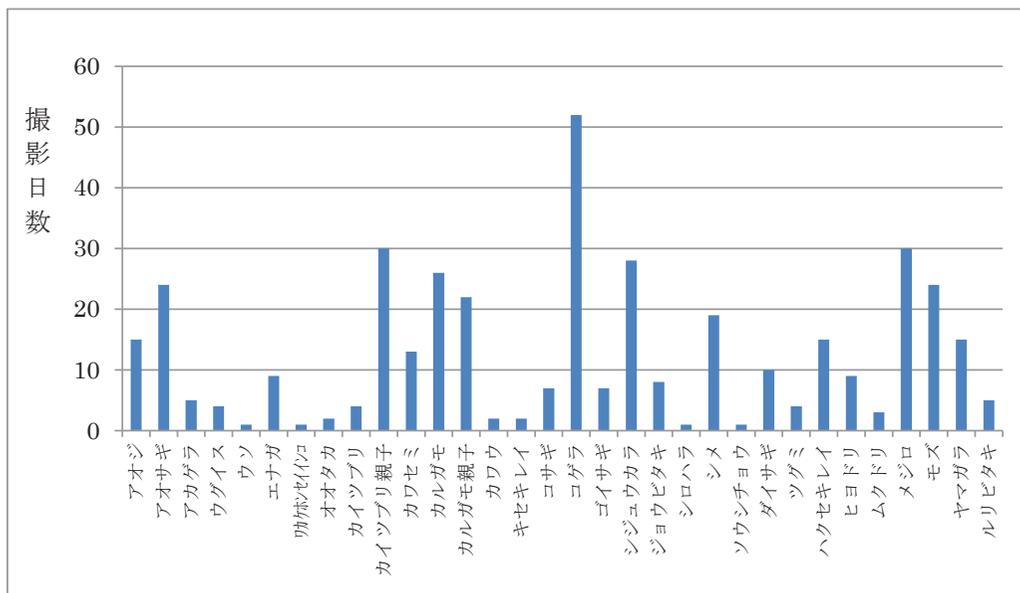
アオジ、アオサギ、アカゲラ、ウグイス、ウソ、エナガ、ワカケホンセイインコ、オオタカ、カイツブリ、カワセミ、カルガモ、カワウ、キセキレイ、コサギ、コゲラ、ゴイサギ、シジュウカラ、ジョウビタキ、シロハラ、シメ、ソウシチョウ、ダイサギ、ツグミ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ムクドリ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ルリビタキ及び撮影しなかったハシブトガラス、スズメ、ドバトを含めると計33種が見られました。

自然教育園で見られる鳥の頻度

2013年に撮影した鳥の種類と頻度を〈図1〉に表しました。

年間20日以上撮影した鳥としては、アオサギ、カイツブリ、カルガモ、コゲラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、メジロ、モズがあげられます。

年間10日～20日撮影した鳥としてはアオジ、カワセミ、シメ、ダイサギ、ハクセキレイ、ヤマガラです。



〈図1〉 2013年に撮影した鳥の種類と撮影頻度（撮影日数）

鳥の種類と季節

2013年自然教育園月別の鳥の撮影記録〈図2〉と季節別の鳥種類と撮影頻度〈図3〉から、年間を

通して園内見られる鳥、冬季に園内で見られる鳥等がおおまかに分類されます。

全般には12月～3月の冬季に多くの鳥を見ることができます。

年間を通して見られる鳥としてはコゲラ、シジュウカラ、メジロ、カルガモ、カワセミが挙げられます。

カワセミは園内の池や湿地の木の枝に止まっている姿を運がよければ見られます。

冬季に見られる鳥としてはアオジ、アカゲラ、ウグイス、ウソ、エナガ、ワカケホセインコ、オオタカ、シメ、ヒヨドリ、モズ、ヤマガラ、ルリビタキが挙げられます。

冬季にはコゲラ、シジュウカラ、メジロ、エナガが群れで園内の木々を飛び回っているのがみられます。

冬季武蔵野植物園の笹やぶの中からチーチーと鳴くアオジ、チャッチャッと鳴くウグイスの音が聞こえてきます。アオジは比較的木に止まったりして姿を見つけることができますが、ウグイスはなかなか姿を見つけることは難しいです。

冬季一番多く園内で見られる鳥はヒヨドリで、園のいたるところで群れになっているのが見られます。

サギ類は季節とは無関係に園に飛来して、飛来するとしばらくその姿を見ることができます。一番多くみられるのはアオサギです。

アオサギ、ダイサギ、コサギは園の水辺で小魚やエビやザリガニを捕っているのがよく見られます。今年はカルガモとカイツブリの子育てが見られました。

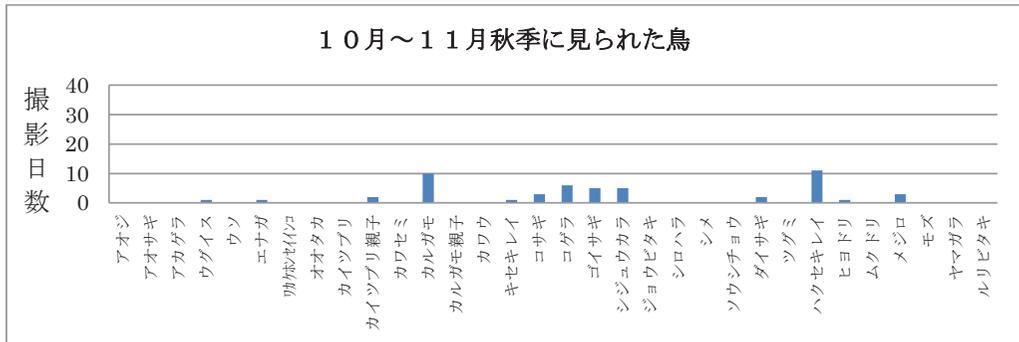
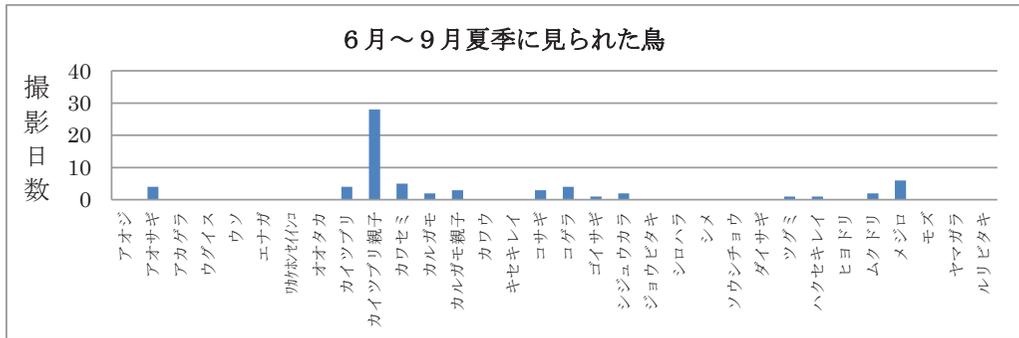
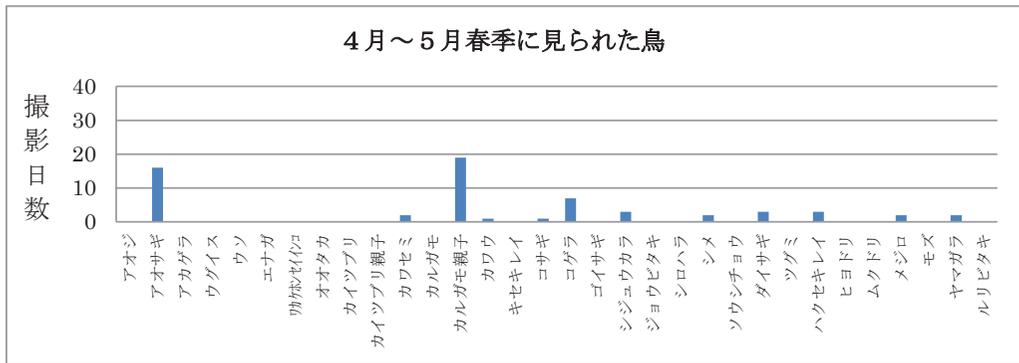
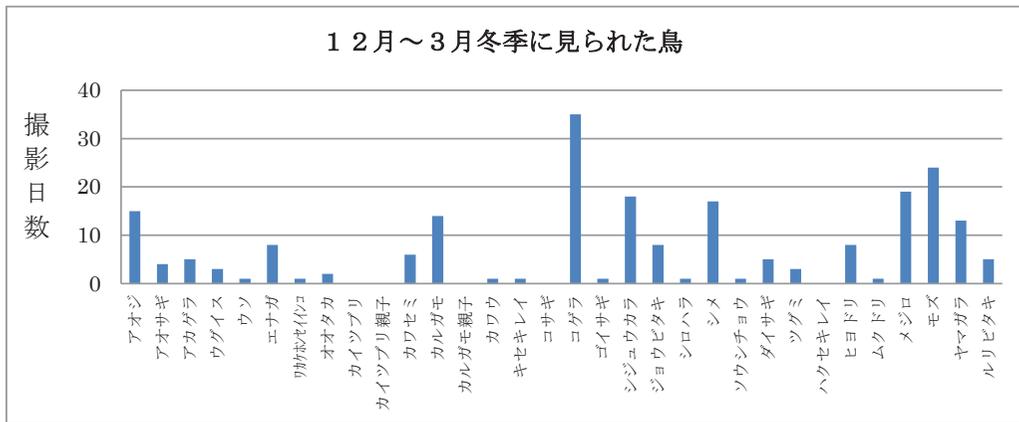
カルガモは5月～6月にかけて、カイツブリは8月～11月にかけて子育てが行われていました。

カルガモは小ガモをつれて、水生植物園の池、ひょうたん池、森の小道の湿地、水鳥の沼を移動します。残念ながら11羽生まれた子ガモはすべてアオサギ、カラス、ネコ等の天敵にやられてしまいました。

カイツブリは水生植物園の池で子育てを行っています。カイツブリの雛は2羽育ちました。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1 アオジ												
2 アオサギ												
3 アカゲラ												
4 ウグイス												
5 ウソ												
6 エナガ												
7 ワカケホセインコ												
8 オオタカ												
9 カイツブリ												
カイツブリ親子												
10 カワセミ												
11 カルガモ												
カルガモ親子												
12 カワウ												
13 キセキレイ												
14 コサギ												
15 コゲラ												
16 ゴイサギ												
17 シジュウカラ												
18 ショウビタキ												
19 シロハラ												
20 シメ												
21 ソウシチョウ												
22 ダイサギ												
23 ツグミ												
24 ハクセキレイ												
25 ヒヨドリ												
26 ムクドリ												
27 メジロ												
28 モズ												
29 ヤマガラ												
30 ルリビタキ												

〔図2〕 2013年自然教育園 月別の鳥撮影記録 (1日以上/月:撮影した月)

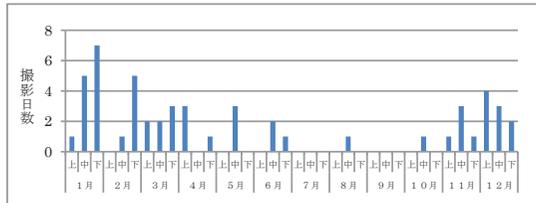


〔図3〕 2013年 季節別の鳥種類と撮影頻度

自然教育園で見られる鳥たち

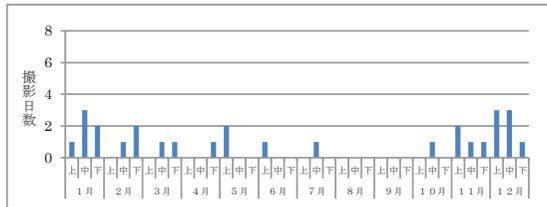
年間を通じて見られる鳥

コゲラ (*Dendrocopos kizuki*)



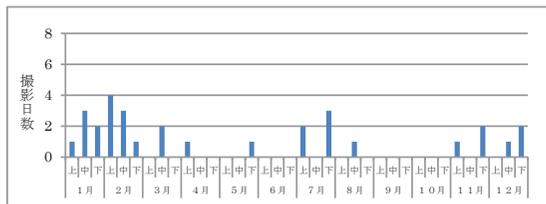
園内でよく見られる鳥でギーと鳴く声がよく聞かれます。
園内でコツコツと木をつつく音が聞こえるところをみると見つけることができます。
冬季はシジュウカラ、メジロ、エナガの群れに混じって園内を飛び回っています。

シジュウカラ (*Parus minor*)



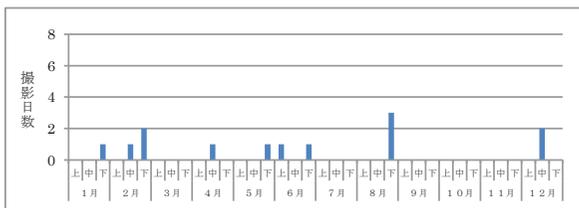
園内でよく見られる鳥でツツピーと鳴く声がよく聞かれます。
冬季はメジロ、エナガと群れになって園内を飛び回っています。
冬は水生植物園の枯れたヒメガマをつついて見られます。

メジロ (*Zosterops japonicus*)



園内でよく見られる鳥でチュリチュリと鳴く声が聞こえます。
群れになって園内を飛び回っています。冬は笹のヤブの中にいます。
花が好きで、ツバキやサクラの花をついばむ姿が見られます。

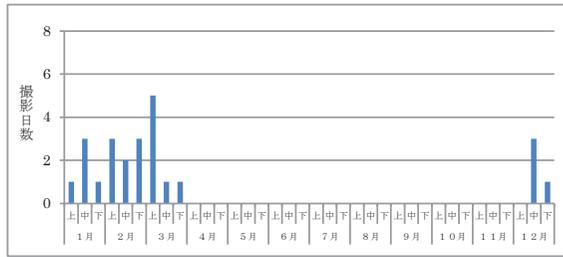
カワセミ (*Alcedo atthis*)



運が良ければ、池や湿地の枝に止まっている姿や水にダイビングする姿が見られます。

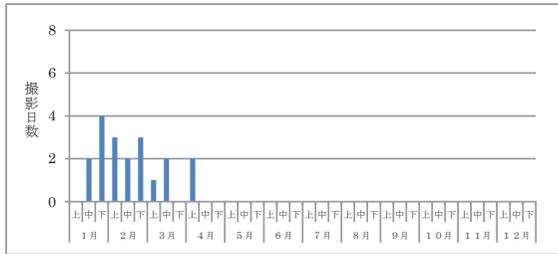
冬季によく見られる鳥

モズ (*Lanius bucephalus*)



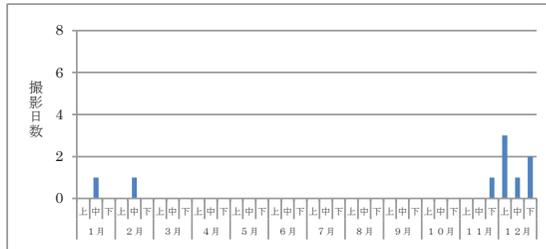
水生植物園や武蔵野植物園の木の枝によく止まっている姿が見られます。

シメ (*Coccothraustes coccothraustes*)



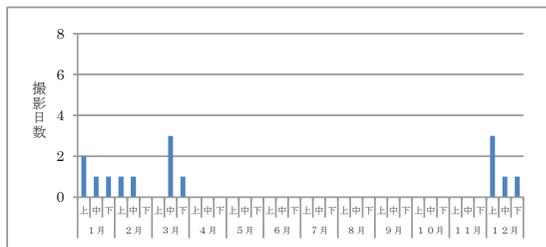
森の小道附近の木の枝に止まっている姿が見られます。

エナガ (*Aegithalos caudatus*)



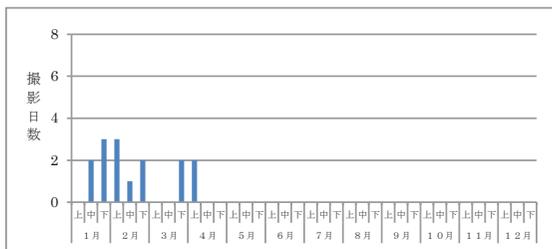
ジュリジュリと鳴く声が聞こえ、園内をシジュウカラ等と群れになって飛び回っています。

アオジ (*Emberiza spodocephala*)



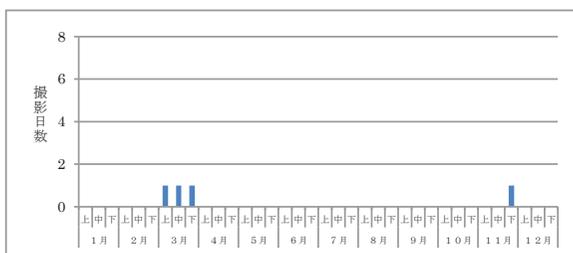
武蔵野植物園の笹やぶの中でチーチーと鳴く声が聞かれ、近くの木の枝や歩道に姿を現します。

ヤマガラ (*Poecile varius*)



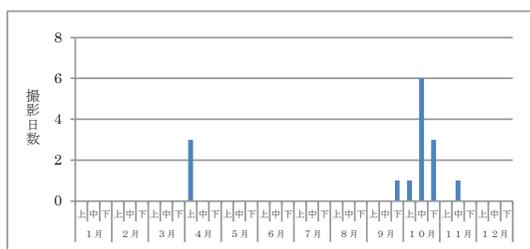
シジュウカラやエナガの群れに混じって木々の間を飛び回っています。
ツバキの花をついばむ姿、木をつつく姿が見られます。

ウグイス (*Cettia diphone*)



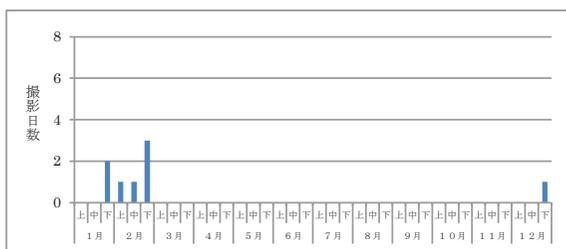
冬は武蔵野植物園の笹やぶでチャッチャッと鳴く声が聞こえてきます。
なかなか姿を現さないので撮影するのは大変です。
桜の咲くころにはホーホケキョと美しい鳴き声が聞こえます。

ハクセキレイ (*Motacilla alba*)



10月には園の正門付近でよく姿が見られました。

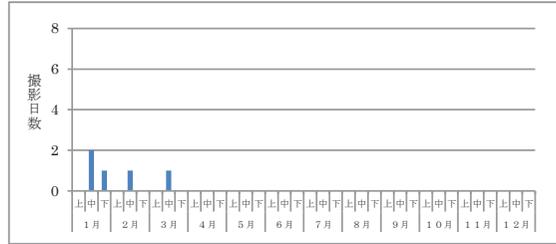
ジョウビタキ (*Phoenicurus aureus*)



園に入った直ぐの木にジョウビタキのオスの姿がよく見られました。

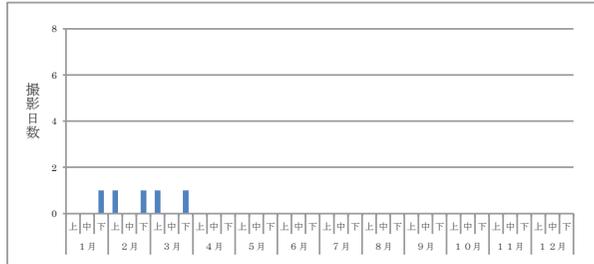
冬にまれに見られる鳥

アカゲラ (*Dendrocopos major*)



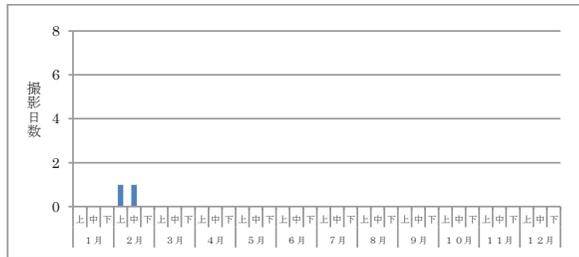
今年は都会の自然教育園で木をつつくアカゲラが見られました。

ルリビタキ (*Tarsiger cyanurus*)



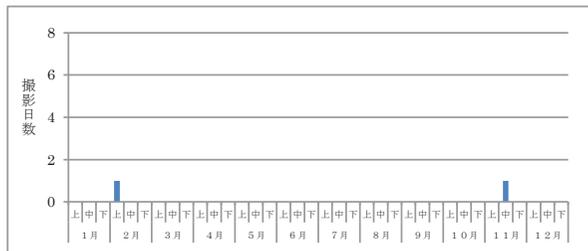
水鳥の沼から流れる水路付近で目がクリクリして可愛いルリビタキが見られました。

オオタカ (*Accipiter gentilis*)



森の小道の奥の木に止まっていました。カラスとバトルする姿も見られます。

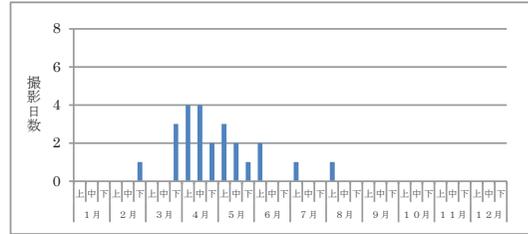
キセキレイ (*Motacilla cinerea*)



水生植物園で見かけました。

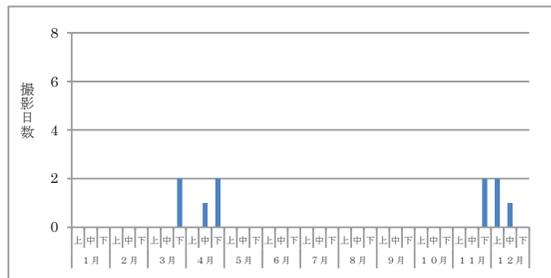
サギの仲間

アオサギ (*Ardea cinerea*)



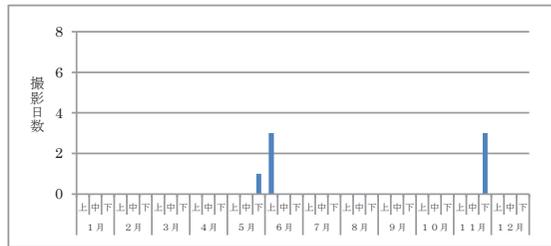
園内によく飛来するサギで池や湿地で餌を捕っている姿が見られます。
カナヘビ、ザリガニを食べている姿も見られます。

ダイサギ (*Ardea alba*)



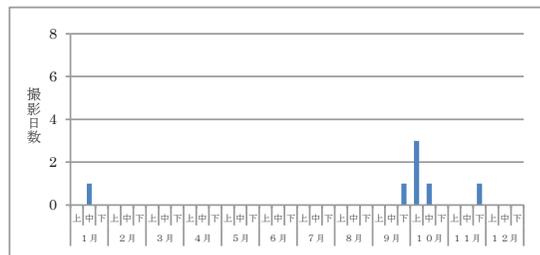
園内に時々飛来するサギで池や湿地で餌を捕っている姿が見られます。

コサギ (*Egretta garzetta*)



園内に時々飛来するサギで池や湿地で餌を捕っている姿が見られます。

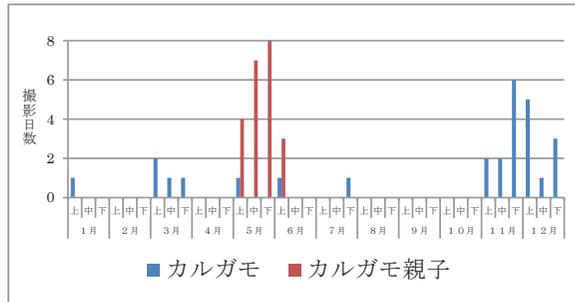
ゴイサギ (*Nycticorax nycticorax*)



園内で時々、池の木に止まっているホシゴイと呼ばれる幼鳥が見られました。

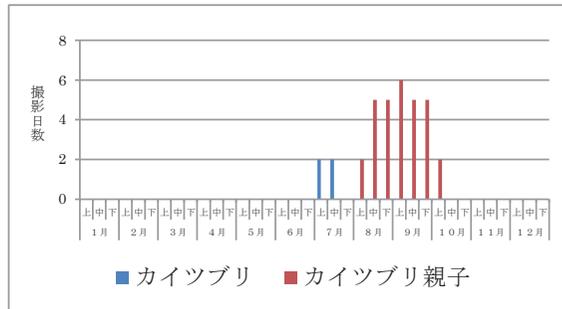
子育てしている鳥

カルガモ (*Anas zonorhyncha*)



5 / 5 森の小道奥の湿地にカルガモの親子が現れました。そして、園内の水生植物園の池、ひょうたん池、水鳥の沼を渡り歩いて散歩している姿が見られるようになりました。残念ながら、日々子カルガモの数が減っていき、5 / 5 11羽確認されましたが、5 / 9 に9羽に、5 / 10 には8羽に、5 / 15 には6羽に、5 / 21 には4羽に、5 / 22 には3羽に、5 / 23 には2羽に、5 / 28 には1羽に、そして6 / 5 を最後に子カルガモは見られなくなりました。アオサギ、カラス、ネコなどの天敵にやられたようです。

カイツブリ (*Tachybaptus ruficollis*)



7 / 7 頃から水生植物園の池でカイツブリが見られ、求愛の鳴き声がよく聞かれました。また、巣らしきものが見られ、時々その上に乗っている姿も見られました。7 / 11 に水生植物園の池のヒメガマの中に作られた巣に卵が1個見られました。以降はカイツブリが孵るまで巣の近辺は立ち入り禁止となりました。8 / 8 頃から子カイツブリ2羽と親カイツブリと連れ立って池を泳ぐ姿がみられました。9月末には子カイツブリが飛ぶ練習をしていました。10 / 2 を最後に見られなくなり、どこかへ飛びだったようです。

謝 辞

この撮影記録をまとめるにあたり、ご指導いただいた矢野亮名誉研究員、日本野鳥の会東京の丹羽和夫氏にお礼を申し上げます。